

+****+++++* +****+++++* +****+++++* +****+++++*

憲法しんぶん 速報版
発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2017年9月21日（木）

NO. 792号 本号3頁

戦争法強行採決から2年！

戦争法・共謀罪の廃止と安倍内閣退陣を求める大集会を開催

10,500人が結集

戦争法の強行から2年となる9月19日、戦争法廃止と安倍政権の退陣を求める行動が全国各地で取り組まれました。国会正門前には10,500人が集まり、日本共産党、民進党、社民党の国会議員らと一緒に「市民と野党は共闘するぞ！」「安倍内閣退陣！」のコールを響かせました。

毎月19日に行われてきた国会前集会は、今月は総がかり行動実行委員会と、先日結成された「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」実行委員会の共催で開催されました。

はじめのコールの後、民進党の小川敏夫参院議員会長は「野党が力を合わせて安倍政権を倒そう」と発言。日本共産党からは志位和夫委員長が、憲法53条による野党の国会開会要求を3カ月もたなごらしにしたあげくの臨時国会冒頭解散は、「森友・加計」問題での最悪の疑惑隠しで、憲法違反だと批判。社民党の福島瑞穂副党首は「国民の力で安倍政権を退陣させよう」と訴えました。そして、自由党の小沢一郎代表は「安倍政権を倒す一点でなんとしても結集を」とのメッセージを寄せました。



「野党は共闘は国民の共有財産です」

なお、志位氏は野党と市民の共闘は、市民の「野党は共闘」の声に押されて始まったもので「4野党だけのものではないし、いわんや民進党と共産党のものでもありません。国民の共有財産です」と強調。「2年間の共闘の成果を土台に、野党と市民の共闘を発展させ、安倍政権を倒し、新しい政治をつくる総選挙にしていこう」と呼びかけると、参加者は「がんばろう」などの歓声で応えました。このように、野党のあいさつに対して、参加者は「野党は共闘」との声を上げていました。

主催者あいさつした高田健さん（総がかり行動実行委・共同代表）は、この2年間で「4野党プラス市民」という新しいたたかいを生みだしたと強調。解散・総選挙の可能性が濃厚になったとのべ、「党利党略の解散に立ち向かうために、この共闘を崩すわけにはいきません。立憲主義回復と戦争法廃止の一致点がある。全力で選挙をたたかいましょ」と呼びかけました。

その後、安全保障関連法に反対する学者の会、安保関連法に反対するママの会、安法制違憲訴訟の会の代表らがスピーチし、安倍首相による解散・総選挙の動きを「森友・加計学園疑惑隠しだ」と批判。「市民と野党の共闘で安倍政権を退陣に追い込もう」と呼びかけると「そうだ」の声と拍手がわき起こりました。

「さよなら原発 さよなら戦争 全国集会」に 9500 人

東京都渋谷区の代々木公園で 18 日、「さよなら原発 さよなら戦争 全国集会」が開催され、9500 人が参加しました。「さよなら原発」1 千人万署名市民の会が主催し、総がかり行動実行委員会が協力しました。

市民の会呼びかけ人の落合恵子さんは開会あいさつで、解散・総選挙の動きにふれ、「これだけやりたい放題の内閣があったか。これだけ傲慢な人々がトップだったことがあるか。私たちの答えをしっかりと示そう」と訴えました。

二人の子どもとともに、東京電力福島第一原発事故後、大阪に避難している森松明希子さんが、6 年半の避難生活を振り返り「福島原発事故は、人々の平穏な日々と原発が共存できないことを示している」と発言し、「誰もが平和で健康に生きる権利を勝ち取るために頑張る」と述べました。

沖縄平和運動センターの山城博治議長は、安倍首相の早期解散発言について「国民に圧政を続ける安倍政権をこれ以上長続きさせてはならない。野党は戦線を統一してほしい」と呼びかけました。

総がかり行動実行委員会の福山真劫共同代表は「安倍政治を終わらせるチャンスだ。みんなの力で野党共闘をつくりだし、安倍政権を引きずりおろそう」と訴えました。

集会後、参加者は 2 コースに分かれてデモ行進しました。



なお、憲法会議は出店コーナーのブースで、憲法会議の書籍等の販売を行いました。「日本国憲法はこうして生まれた」等の書籍も売れましたが、憲法パンフレットは 85 冊も売れました。売りながら、様々な方と話すところ 9 条改憲に皆さん怒っていると改めて感じました。中には、「パンフ注文したわよ」という方も。また、「帰ったら、注文するからね」という方も（この方からは 20 冊の注文が FAX で届きました）。なお、このような努力もあって、20 日現在普及数は 29,000 冊に到達しました。

各地のとりくみ

埼玉 「安倍首相の改憲に立ち向かう市民大学習会」に 350 人

埼玉憲法会議は 14 日、さいたま市浦和区で、「安倍首相の改憲に立ち向かう市民大学習会」を開催し、390 人が参加しました。

渡辺治一橋大学名誉教授が講演。安倍首相が狙う改憲の内容として、①2020 年に改憲を施行するという期限を設定、②9 条改憲が本命と明言、③9 条に加憲、④教育無償化のための 26 条改憲などがあると話しました。

9 条に自衛隊の存在を書き加える加憲の危険性について、①9 条の考え方が根本的に定めた 2 項の制約がなくなることで、災害復旧支援活動の後退や海外派遣時の武力行使も可能となると指摘しました。

渡辺講演には「改憲を阻む市民との共同を早くつくること。『安倍政権下での改憲阻止』の一致点のもとで保守の人々とも連携する。9 条改憲の危険性を広く訴え。かつてない規模での共同をつくるのが大事。目標は国民投票より前の改憲の発議自体を阻止することです」と訴えました。

学習会では行動提起として、①地域ごとにかつてない共同をつくり、学習会を各地で開催する。
②「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名（3000万人署名）」取り組むことを呼びかけました。

福島 「安倍改憲反対、平和と憲法9条を守ろう」と「総がかり白河行動」

「安倍改憲反対、平和と憲法9条を守ろう」と「総がかり白河行動」が13日、福島県白河市内各地で行われました。呼びかけは、憲法を守り生かす白河共同センターです。

行動参加者は、「さよならアベ首相」「市民と野党の力で暴走を止めよう」と書いたプラカードや横断幕などを掲げ、スタンディング宣伝。声援を送る通行人、車から手を振って激励する人など、注目されました。

リレートークで参加者は、北朝鮮の弾道ミサイル発射や核実験の暴挙に厳重に抗議。米国と北朝鮮が「対話による解決」に力を尽くすよう強く求め、日本政府は対話拒否、軍事的対応優先の姿勢を撤回して米朝に平和的対話を行うよう働きかけるべきだと強調しました。

また、北朝鮮の軍事挑発を口実に、種瀬永泰を憲法に明記する「改憲」策動や、軍事力増強政策を厳しく批判。「安倍改憲を許せば、日本は再び軍国主義の暗黒事態に逆戻りしてしまう。野党共闘で安倍政権を倒そう」と呼びかけました。

宇都宮 500人で「武力で平和は守れない」等とコールし、パレード

「戦争法の廃止と立憲主義の回復を求める栃木県民ネットワーク」は16日、宇都宮市で集会を開きました。約500人が参加し、集会を行った後、市役所から大通りを通り、JR宇都宮駅近くの宮の橋までの約2キロをパレード。「武力で平和は守れない」「戦争法廃止」などとコールしました。

集会で、県民ネットの太田うるおう共同代表は、北朝鮮による相次ぐミサイル発射を批判するとともに、軍事力強化の動きにも懸念を表明。「問題の解決は、命をやりとりする戦争ではなく、対話・外交努力の積み重ねしかない」と強調しました。

また、歴史的運動となった市民と野党の共闘に言及。歴史的運動となった市民と野党の共闘に言及。「憲法9条を守るためにも、さらに共闘を広げ、機能させる必要がある。県民ネットを力強い市民運動にしよう」と力を込め、参加者は大きな拍手で応えました。



**翁長知事の工事差し止め訴訟支援！
オスプレイ配備撤回！**

**辺野古新基地建設
を許さない
10.4集会**

2017年10月4日(水)
18時30分開会 (18時開場)
集会後、デモ
日比谷野外音楽堂
(東京メトロ「霞ヶ関」下車 徒歩4分)

主 催

基地の県内移設に反対する県民会議 TEL 098-833-3218
「止めよう! 辺野古 埋立て」国会包囲実行委員会
沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック TEL 090-3910-4140 / 沖縄意見広告運動 TEL 03-6382-6537 / ピースポート TEL 03-3363-7561
戦争させない・9条壊すな! 総がかり行動実行委員会
戦争させない1000人委員会 TEL 03-3526-2920 / 憲法9条を壊すな! 実行委員会 TEL 03-3221-4668
戦争する国づくりストップ! 憲法を守り・いかなず共同センター TEL 03-5842-5611